

## vol.1

## 花巻市新図書館への若者の提言

## 目次

1. 私たちの想い	1
2. 若者として提言する理由	2
3. 提案するコンセプト	3
4. 新図書館イメージ	4
5. 一部具体案	6
6. まとめ	10
7. 最後に	11
8. メンバー紹介	11

## 1

## 私たちの想い

私たち6人はこれからも花巻に関わっていきたい、花巻を元気にしたいという気持ちから集まりました。現在18~20歳で大学や会社に所属していますが、それぞれの花巻に対する想いを真剣に話し合い、今回の提言をまとめました。これから花巻の未来を担っていく私たちは、本気で花巻について考えています。そのことを踏まえた上でこの提言を読んでもらいたいです。



若者が提言をする意味は主に2つの理由が挙げられると考えています。

### 1. これから長く使っていく若者の立場としての提言

新図書館ができてから40年、50年後も利用するのは私たちのような若い世代です。ですが、今の若い世代はデジタル化が進んだことにより本離れが増えています。その中で図書館だけの機能を持った施設をつくるよりも、図書館の入り口になるような施設を併設すべきだと考えました。また、キーワードを「多世代交流」とし、現在の花巻市民や、今後の自分たち、下の世代のためになるためには何が必要か考えました。これから長く愛される施設になるためにも欠かせないキーワードです。

### 2. 一地方都市としての花巻の未来

現代では政策に若者が参加することも増えてきました。しかし、若者にはその実感がないことが課題として挙げられます。この提言を計画に反映させることで、花巻市としても話題性やオリジナリティが出てきます。「花巻は若者の意見も取り入れているんだ」と若者がまちづくりに入るきっかけになり、花巻の未来はもっと明るくなります。



きょうせい

こせい

かのうせい

# 共生・個性・可能性

## 多世代が「共生」する 花巻と「共」に「生きる」

私たちは多世代交流に重点をおき、新図書館について考えてきました。多世代の共生と、花巻と共に生きる。長く愛される施設になるために必要なコンセプトだと考えました。

## 花巻らしさという「個性」 市民それぞれの「個性」

他の地域にあっても「花巻の施設だ」とわかるような個性をこの図書館に加えたいと考えています。また市民の個性が集まることでより魅力的な場になります。

## 花巻の未来の「可能性」 新たな場の「可能性」

人の交流を生み、次の世代につなげていくことで花巻の未来の可能性を広げます。個性が集まり共生することで、新たな人の輪が広がり花巻の可能性を広げる場になります。

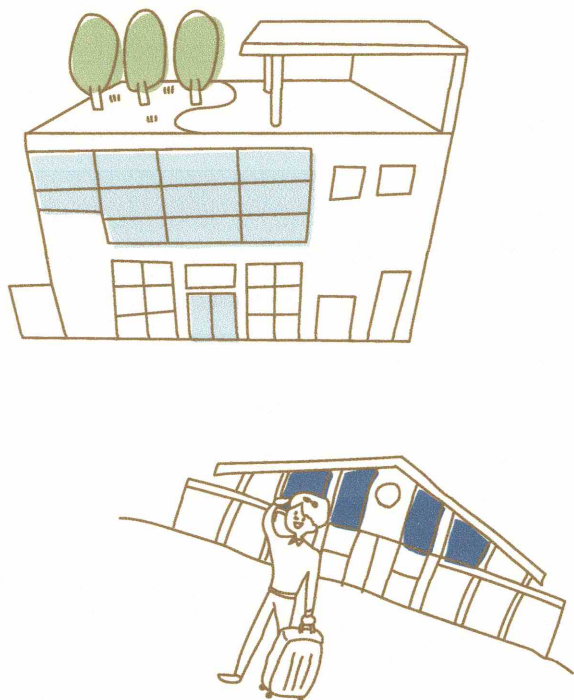


コンセプトの「共生・個性・可能性」から、このようなイメージを考えました。花巻に住む、花巻を訪れる様々な人が利用している様子です。小さな子どもからお年寄りまで様々な人がそれぞれの目的で集まり時間を過ごす。その中で本や掲示板を通して交流が生まれたり、花巻を知ることができたら良いな、と思っています。

建物のイメージとして、宮沢賢治の「よだかの星」「銀河鉄道の夜」などから建物のデザインとして内部に銀河のようなイラストを描いたり、天井や壁に星座を描いたりしても良いのでは、というアイデアも出ました。

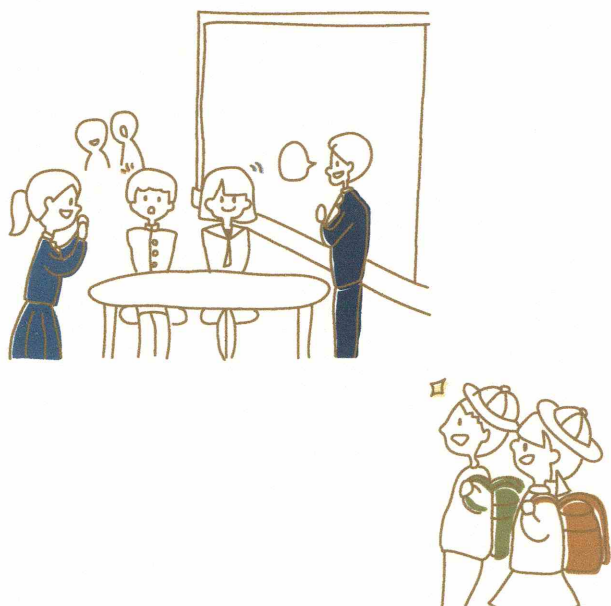


## 立地



前提として、私たちは新図書館の予定地は花巻駅前(現タケダスポーツ)を希望します。駅からの距離が近いことで、交通機関の待ち時間にふらっと立ち寄れたり、郊外に住んでいる高齢者も駅であればバスを利用して気軽に来ることができると考えています。学生が現在のまなび学園をあまり利用しない理由として、高校とは違う方向にあることも挙げられます。また、まなび学園前は道路が狭く、小さい子どもを連れた親子や車椅子の利用者が頻繁に通るのは危険です。道路に車通りが多くなるだけで安心して通行することができなくなる確率は上がります。駅の近くにあるだけで利用者は増えると思います。

## 地域学習



花巻のことを知ることができる資料を置いたり、「花巻市民からみた花巻」などを紹介することで、小学生の校外学習の場になったり、気軽に花巻に触れることができるようになります。また、その資料や展示を観光客が見ることで花巻について知ることができる施設にもなります。



今回私たちの考えた図書館に併設して欲しいスペースについての具体案を紹介します。なぜタイトルが「一部」なのかというと、新図書館に必要な要素はまだ考える余地があると考えているからです。その中でも私たちが特にこだわりたいスペースを今回は提言したいと思います。

## 勉強スペース

花巻市内には勉強スペースがいくつかありますが、料金がかかってしまったり、利用しづらい場所にあたりと、高校生からすると場所が足りず、もっと勉強スペースが欲しいという話をよく耳します。勉強スペースを図書館と併設することですぐに資料が見れたり、情報を調べることができます。

### 1. 欲しい要素とその理由

#### 用途別スペース

飲食可能スペース / 静かに勉強ができるスペース / 話せるスペース  
学生もそれぞれあった環境で勉強できるスペースがあるほど利用しやすくなります。図書館で学生がよく、「一日同じ場所で勉強をしたいのに、ご飯を食べる場所がなく困っている」と言っているのを耳にします。飲食可能なスペースがあればそこで勉強しながら飲食ができ、咀嚼音などが気になる人は静かに過ごせるスペースにいれば集中できるのです。また、静かすぎるよりも話しながら勉強するのがある場合には会話してもいいスペースで勉強するなど、それぞれの事情に合わせて使い分けることができます。



## 設備

### コンセント / 誰でも使える Wi-Fi

近年デジタル化が急速に進んだことで、コンセントや Wi-Fi は欠かせない設備になりつつあります。若者は身近にデジタル機器がある環境で育ってきた人が多いため、Wi-Fi がないだけで使用率は大きく減ります。また、パソコンユーザーも充電しながら利用できたら快適な時間が過ごせるのでは、と考えました。

## 雰囲気

### 落ち着いた / 無機質ではない空間

現花巻図書館やまなび学園、なはんプラザとは違う雰囲気にすることで、利用する人が自分の好みに合わせて施設を選ぶことができます。

## 2. ターゲット

学生 / 交通機関待ちの時間を埋めたい人 / 話したい人 /  
仕事をしたい人 / 話し合いをしたい人

主なターゲットは学生ですが、他にも利用したい人なら誰でも支えて良いと思います。

## 3. 参考事例

オガール / やはパーク / アイーナ

共通点としては話せるエリアと静かに勉強できるスペースが分かれていて、用途別に利用できることです。また、駅前にあることも共通点として挙げられます。



# —— 交流スペース ——

「2. 若者として提言する理由」にも書いたように、私たちは「多世代交流」をキーワードとしてきました。この交流スペースを通して子どもから高齢者まで、花巻市民全員が交流できる場所になれば、と考えています。この交流スペースから新たな人の輪が増え、広がり、花巻をもっと元気なまちになることを目指します。

## 1. 欲しい要素とその理由

### スペースのイメージ・設備

普段 → 机と椅子があって気軽に利用できるスペース / 壁の一角がホワイトボードになっていて誰でも使える

イベント時 → 一部利用することができる

交流スペースは、ふらっときてお話ししたり、新聞や借りた本を読んだりできるスペースで良いのでは、と思っています。事例としては、「やはパーク」のようなイメージです。壁の一角をホワイトボードにし、ミーティング時や、友達と話している間や子どもの落書きなどに使えるスペースになればと思っています。

また、イベントの時に同じスペースを利用することで、オープンなイベントを行うことができます。

### 掲示板

アナログで交流できる掲示板 / デジタルでまちづくりに参加できるような掲示板

現代のデジタル化している時代に、アナログで人の交流を可視化することが機能として長く続くのではと考えています。ただの黒板のようにするのではなく、木のパーツを組み合わせてツリーのようにすると、時間が経つにつれ味が出るのではと考えています。

デジタルの掲示板は行政とつながっていて、まちづくりに参加できる仕組みだと「誰でもまちづくりに参加できる」という点で面白いのではと考えました。



## 2. ターゲット

花巻市民 / 観光客 / 活動する際に使いたい人 /

オープンな場でイベントをしたい人 / 掲示板を利用して交流したい人

花巻市民だけでなく、観光客が掲示板にメッセージを残して交流が生まれたりするのが可視化されるととても面白いのでは、と思います。

イベントに関しては、閉じた場でイベントをしたい場合にはなはんプラザを利用し、オープンな場でイベントをしたい場合は新図書館を利用するというように、今ある花巻の施設と使い分けをすることができると良いのではと思います。

## 3. 参考事例

福島県南相馬市立図書館の掲示板 /

安比高原スキー場のゲレンデ出入り口にあるホワイトボード

人の交流が可視化できる、という事例です。南相馬市立図書館では司書さんが質問に答えています、誰でも答えられるようにすると交流が増えるのではと考えています。



コンセプトや具体案から私たちの意見をまとめるとこのようになりました。  
少しでも私たちの想いを汲み取っていただけると幸いです。

### キーワード

多世代交流 / 誰もが使える施設

### コンセプト

共生・個性・可能性

### 設備面

花巻駅前の現タケダスポーツの場所へ  
メインの入り口は駅側  
花巻駅西口と繋ぐ  
バリアフリー  
Wi-Fi、コンセントの設置  
用途別のスペース

### 要素

勉強スペース  
交流スペース



今回の提言のタイトルに「vol.1」とつけたのには理由があります。私たちは花巻新図書館はもっと考える余地があると思っています。より良い花巻にするには自分たちに何ができるのか、どうしたら大人に意見を拾ってもらえるのか、これからも考えチャレンジし続けます。行政の方々にも目指すものがあるのであれば妥協せず、完成させて欲しいと思っています。花巻市民が利用し続ける施設になって欲しい、自分たちも新図書館で過ごしたいと思っているからこそその想いです。

私たちはこれからも花巻に関わり、考え、活動していきます。真剣に考えた提言だからこそ少しでも若者の想いを汲み取っていただきたいです。今後ともよろしくお願い致します。